



Taka Ishii

Gallery

Photography / Film

6-6-9 2F Roppongi Minato-ku Tokyo
#106-0032, Japan
tel 03 6447 1035
fax 03 6447 1036
web www.takaishiigallery.com
email tig@takaishiigallery.com

操上和美 「陽と骨Ⅱ」

会期:2011年10月29日(土)-11月19日(土)

会場:タカ・イシイギャラリーフォトグラフィー/フィルム (東京・六本木)

オープニング・レセプション:10月29日(土)18:00-20:00

タカ・イシイギャラリー フォトグラフィー/フィルムは、最新作品集『陽と骨Ⅱ』の発刊に合わせ、10月29日から11月19日まで操上和美 個展「陽と骨Ⅱ」を開催いたします。本展では、作品集収録ポラロイド作品8点と、同収録ポラロイド作品を180 x 180 cmに引き伸ばした大プリント2点を展示いたします。

「陽と骨」について

日常の中で、あるいは旅の途中で、シャッターを切る瞬間は音の感じがしない。

観ることに集中する意識の空白の中、ただシャッターの音だけが響く。

風が止み、ふと時が静止する瞬間、そこには死の影が訪れる。そんな直感で生理のおもむくままに視覚を世界に泳がせて狩り集めた記憶の断片。これらのイメージの集積を『陽と骨』というタイトルで、モノクロとカラー2冊の写真集に纏めたのが1984年。

1972年に発売されたポラロイドSX-70。薄いBOX型のこのカメラを使う時は、反射的反応というより、思考的な観察になる。正方形のフレームの中に立ち現れるイメージは、立体感とリアリティーが欠落した、どこか夢の記憶のような浮遊感があり、その表皮的な映像は、存在するすべてのものたちが等価値のイメージとして頗在化するのが魅力だ。

『陽と骨Ⅱ』は、SX-70で撮影したポラロイド写真を、スキャンしたデータよりインクジェットプリントしたものである。

2011年8月 操上和美

1965年に写真家として独立して以来、46年にわたり広告写真・CMの第一線で活躍してきた操上は、これらの仕事とは別に、テーマを設げず自身が触発された対象物を撮影した作品集も発表して参りました(『陽と骨』1984年と『Diary』2005年)。撮影の際に大切なことは他人とは異なる生理・直感を持つこと。そしてその感覚に瞬時に反応することだと操上は語ります。被写体に感応・反射する感覚をより先鋭化するために撮影されたこれらの作品集は、操上の写真家としての美意識を凝縮したエッセンスと言えます。

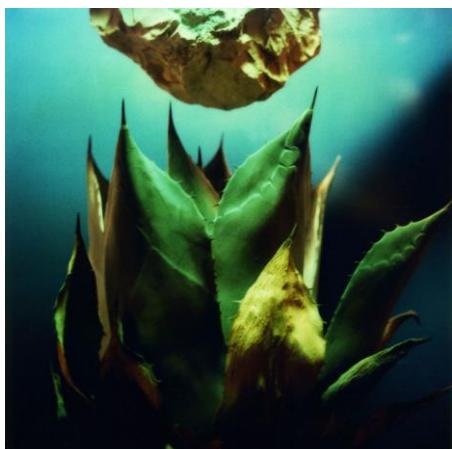
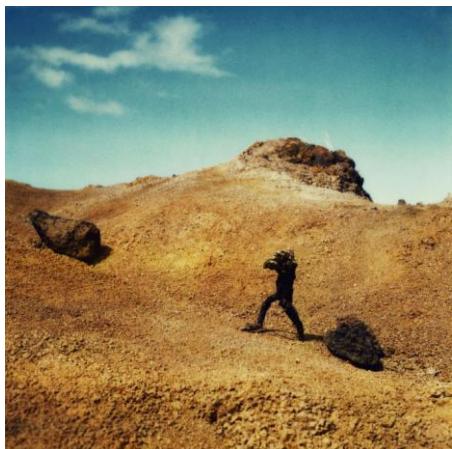
『陽と骨Ⅱ』には、1972年から2011年まで、操上がポラロイドSX-70により撮りためた作品120点が収録されます。ポジフィルムには現れないポラロイド特有の非現実感により、構築的感覚を刺激された操上の、39年にわたる実験的作品群を是非この機会にご覧ください。

是非、貴誌・貴社にて御紹介下さいますよう宜しくお願ひ致します。尚、掲載用写真の貸出など、御質問がございましたら下記までお問い合わせ下さい。

タカ・イシイギャラリー プレス担当: 増山貴之

〒135-0024 東京都江東区清澄 1-3-2 5F tel: 03-5646-6050 fax: 03-3642-3067

e-mail: tig@takaishiigallery.com website: www.takaishiigallery.com 営業時間:12:00-19:00 定休日:日・月・祝日



(左上) (左) (上) 3点すべて

「陽と骨 II」 2011 年

polaroid, paper size: 7.9 cm x 7.8 cm each, unique



操上和美 『陽と骨 II』

販売価格: ¥126,000-(税込)

東京パブリッシングハウス刊 (2011 年)

35 部限定(うち 10 部非売)、244 頁、掲載作品 120 点、

金属製表紙に刻印、H 25.4 x W 19 x D 6 cm